

令和2年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業
地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書

団体名 舞鶴市 (京都府)

1. 当該地域の情報 (令和3年1月現在)

地域の課題	平成27年度に舞鶴市在住の外国籍市民にアンケート調査を行った結果、日本語が話せないため、災害時の対応や行政機関・病院などでの手続きについて多くの人が不安に思っていることが判明し、多くの外国籍市民における日本語学習のニーズがあることが分かった。このようなニーズに応えるため、平成30年8月に日本語教室を開設し、毎週土曜日午後に開催している。増加する外国人に対する地域の理解と、日本での生活スキルの習得を支えるボランティアの確保が必要。
在住外国人数 外国人比率	1,056人 1.3%(令和3年1月1日現在)
在留外国人の 状況	【主な国籍と人数】韓国(372人)、フィリピン(253人)、ベトナム(181人)、中国(78人)、朝鮮(42人)、ブラジル(26人)、ロシア(18人)、パキスタン(17人)、ミャンマー(12人)、インドネシア(11人) 【在留資格】特別永住者(376人)、永住者(272人)、技能実習2号口(84人)、特定活動(54人)、日本人配偶者等(51人)、技術・人文・国際(49人)、定住者(33人)、技能実習3号口(27人)、家族滞在(25人)、永住者の配偶者等(16人) 【滞在年数・在留期間などの状況】 特別永住者、永住者や技能実習生が多い。特別永住者は減少傾向にある一方、技能実習生が増加傾向にある。
在住外国人の 日本語教育の現状	○平成26年に舞鶴ライオンズクラブ主催の外国人のための日本語教室「かもめの学校」が閉鎖。 ○近隣市(綾部市、福知山市等)では既に日本語教室が開設されており、本市在住の外国人が参加。 ○平成28年及び29年に、舞鶴国際交流協会(以下、MIA)と協力し、舞鶴市内の日本語教室の立ち上げに向けた取組を実施。日本語支援ボランティア養成講座及び日本語教室試行を実施。 ○平成30年8月に日本語教室を立ち上げ、ボランティア養成講座を受けた支援者が活動。 ○令和元年度は、日本語教室、ボランティア養成講座、ボランティアスキルアップ講座、多文化共生講演会を開催。

2. 事業の内容

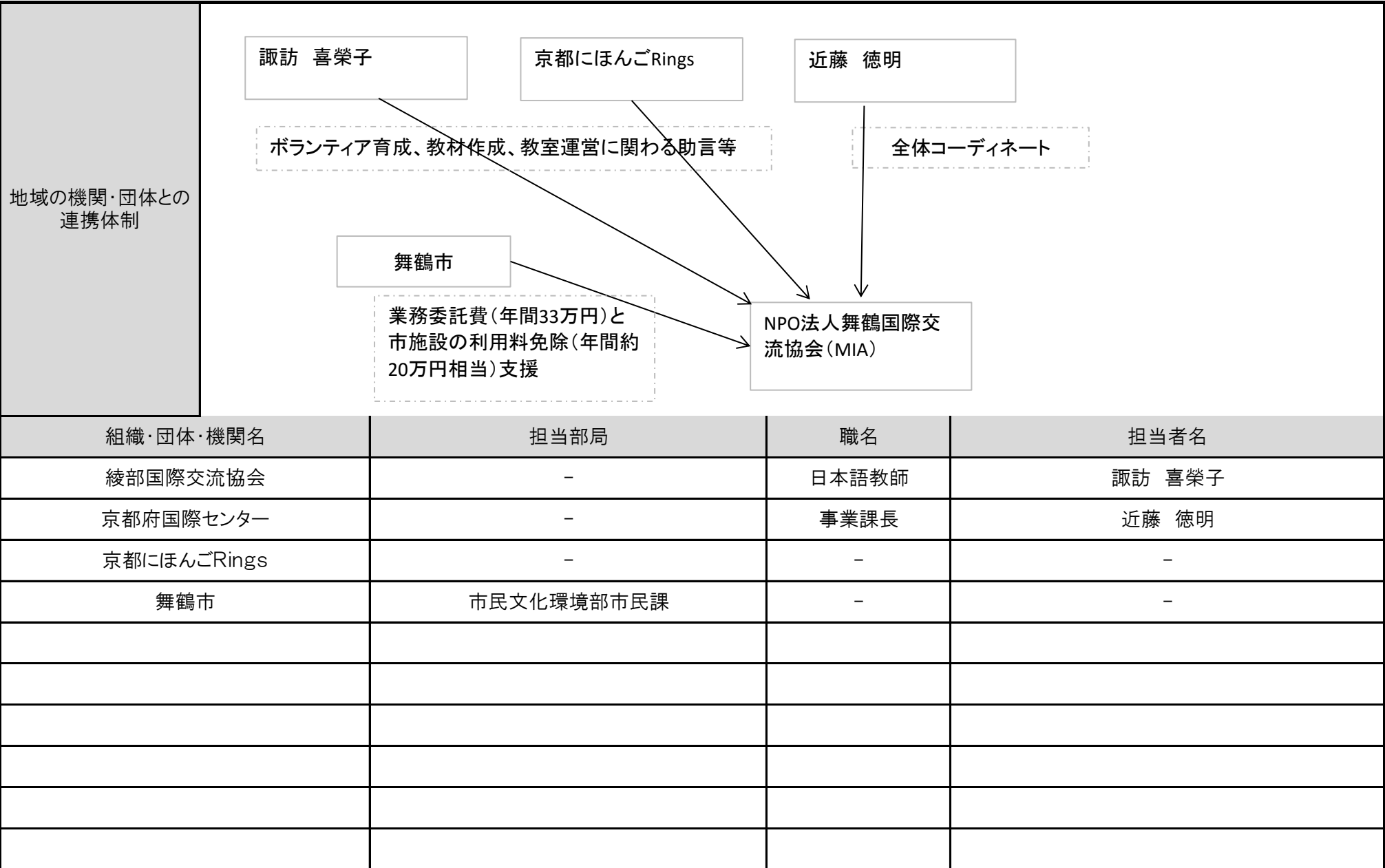
本プログラム取組年数	3年目			
事業の目的	○日本語を意思疎通のツールとして、相互理解を図りながら、誰もが地域社会の一員として幸せを感じて生活できる地域づくりを目指す。 ○外国人が、言語の壁によって発揮することができなかった自分らしさや力を取り戻し、地域社会の一員として健康かつ安全で、文化的な生活を営める地域づくりを目指す。 ○地域の多様なセクター・主体が協働し、地域ぐるみで多文化共生施策の推進を図る地域づくりを目指す。 ○日本語教育・教室を通じて、会話・コミュニケーション・コミュニティの創造・活性化を図り、話し合いによる相互理解を基盤にした地域づくりを目指す。			
事業の概要	○日本語教室(2020年6月20日～):毎週土曜日実施(計29回) ○ボランティアスキルアップ講座:計6時間 ○日本語支援ボランティア養成講座:計10時間 ○多文化共生講演会:1回			
事業の対象期間	令和2年4月～令和3年3月			
前年度の実績 (2年目以降の 団体のみ記載)	○日本語教室の実施(計32回) ○ボランティア7名増加(計29名) ○日本語教室新規学習者29名 ○多文化共生講演会71名参加 ○日本語教室の運営に係るノウハウが向上し、教材も豊富になった。			
担当コーディネーター	氏名	所属	職名	担当する役割
	諏訪 喜栄子	綾部国際交流協会	-	運営全般の助言・日本語指導
	鳥居 文子	NPO法人舞鶴国際交流協会	理事長	日本語教室統括
	島 かずみ	NPO法人舞鶴国際交流協会	-	教室運営、庶務、広報
	倉橋 亮	NPO法人舞鶴国際交流協会	理事	ボランティア育成、教室運営
担当アドバイザー	氏名	所属	職名	継続・新規の別
	井上 洋	一般財団法人ダイバーシティ研究所	参与	継続(3年目)
	近藤 徳明	公益財団法人京都府国際センター	事業課長	継続(3年目)
	磯村 美保子	公益財団法人名古屋YWCA	総幹事 事務局長	継続(3年目)

3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

(1) 地域における日本語教育の実施に向けた検討体制



(2) 日本語教室の実施に向けた事業運営体制図



4. 具体的な取組内容

(1)年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
令和2年 4月	・日本語教室(新型コロナウイルス感染症対策のため中止)		
令和2年 5月	・日本語教室(新型コロナウイルス感染症対策のため中止)	・コーディネーター会議(教室再開、学習計画の作成、スキルアップ講座について)	
令和2年 6月	・日本語教室(毎週土曜日13:30～15:00、15:30～17:00) ・キックオフ会議	・日本語教室支援(学習環境の整備など) ・コーディネーター会議(個別の問題点について把握と協議、多文化共生講演会について) ・キックオフ会議:リモート参加	(キックオフ会議) 井上 洋 :リモート参加 近藤 徳明 :リモート参加 磯村 美保子:リモート参加
令和2年 7月	・日本語教室(毎週土曜日13:30～15:00、15:30～17:00)	・日本語教室支援(学習環境の整備など)	
令和2年 8月	・日本語教室(毎週土曜日13:30～15:00、15:30～17:00) ・多文化共生講演会	・日本語教室支援(学習環境の整備など) ・多文化共生講演会運営 ・多文化共生講演会でMIA活動報告	(講演会 講師) 井上 洋 :リモート参加 近藤 徳明★ 磯村 美保子:リモート参加
令和2年 9月	・日本語教室(毎週土曜日13:30～15:00、15:30～17:00) ・現役日本語支援ボランティアスキルアップ研修	・日本語教室支援(学習環境の整備など) ・現役日本語支援ボランティアスキルアップ講座運営	
令和2年 10月	・日本語教室(毎週土曜日13:30～15:00、15:30～17:00) ・新規日本語支援ボランティア養成講座	・日本語教室支援(学習環境の整備など) ・新規日本語支援ボランティア養成講座運営	(ボランティア養成講座 講師) 井上 洋 :リモート参加 近藤 徳明★ 磯村 美保子★
令和2年 11月	・日本語教室(毎週土曜日13:30～15:00、15:30～17:00) ・現役日本語支援ボランティアスキルアップ研修	・日本語教室支援(学習環境の整備など) ・コーディネーター会議(個別の問題点について把握と協議、新規日本語支援ボランティアへの活動説明など) ・現役日本語支援ボランティアスキルアップ講座運営	
令和2年 12月	・日本語教室(毎週土曜日13:30～15:00、15:30～17:00)	・日本語教室支援(学習環境の整備など)	
令和3年 1月	・日本語教室(毎週土曜日13:30～15:00、15:30～17:00)	・日本語教室支援(学習環境の整備など) ・コーディネーター会議(個別の問題点について把握と協議、学習の進捗状況の振り返り、コロナ感染症対策、休講について)	
令和3年 2月	・日本語教室(新型コロナウイルス感染症対策のため中止) ・現役日本語支援ボランティアスキルアップ研修 ・総括会議	・総括会議:リモート参加 ・現役日本語支援ボランティアスキルアップ講座運営 ・日本語支援ボランティア全体ミーティング(活動の振り返り、今後の活動について) ・コーディネーター会議(個別の問題点について把握と協議、実績まとめ、今後の学習計画について)	(総括会議) 井上 洋 :リモート参加 近藤 徳明 :リモート参加 磯村 美保子:リモート参加
令和3年 3月	・日本語教室(毎週土曜日13:30～15:00、15:30～17:00)	・日本語教室支援(学習環境の整備など)	

(2)立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称			MIAにほんご教室				
外国人参加者について			[国籍]フィリピン3名、ベトナム11名、アメリカ6名、インドネシア4名、中国1名、パキスタン4名、オーストラリア1名、韓国1名、イタリア1名 [属性]技能実習生、主婦、ALT、学生など			参加者数 (内 外国人数)	受講者32名 (内 外国人32名) ボランティア24名 (内 日本語指導者1名) (内 外国人0名)
開催時間数			総時間 87時間		内訳 1.5時間 × 2部 × 29回		
目標			○外国人が舞鶴市で安定した生活が出来るように日本語学習の支援を行う。 ○学習者やボランティアが互いの文化を学び合う場とする。 ○外国人の居場所づくりや地域社会参画の場とし、日本人と外国人のコミュニケーションの場とする。				
実施内容							
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1	令和2年6月20日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	18	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 18名
2	令和2年6月27日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	18	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 11名
3	令和2年7月4日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	10	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 13名
4	令和2年7月11日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	10	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 11名
5	令和2年7月18日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	19	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 16名
6	令和2年7月25日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	13	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 13名
7	令和2年8月1日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	11	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 11名
8	令和2年8月8日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	12	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 14名
9	令和2年8月22日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	11	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 6名
10	令和2年8月29日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	16	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 16名
11	令和2年9月5日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	12	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 13名
12	令和2年9月12日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	17	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 16名
13	令和2年9月19日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	9	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 13名
14	令和2年9月26日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	12	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 15名
15	令和2年10月3日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	13	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 11名
16	令和2年10月10日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	15	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 14名
17	令和2年10月17日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	11	学習者のレベルに応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 10名

18	令和2年10月24日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	9	学習者のレベルに 応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための 日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 12名
19	令和2年11月7日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	17	学習者のレベルに 応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための 日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 13名
20	令和2年11月14日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	13	学習者のレベルに 応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための 日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 14名
21	令和2年11月21日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	15	学習者のレベルに 応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための 日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 13名
22	令和2年11月28日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	17	学習者のレベルに 応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための 日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 16名
23	令和2年12月5日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	6	学習者のレベルに 応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための 日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 12名
24	令和2年12月12日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	1	学習者のレベルに 応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための 日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 7名
25	令和2年12月19日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	4	学習者のレベルに 応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための 日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 12名
26	令和2年12月26日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	6	学習者のレベルに 応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための 日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 12名
27	令和3年1月9日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	5	学習者のレベルに 応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための 日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 7名
28	令和3年1月16日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	3	学習者のレベルに 応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための 日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 6名
29	令和3年3月6日(土) 13:30～15:00、 15:30～17:00	1.5×2	中総合会館	14	学習者のレベルに 応じた日本語学習	・マンツーマン形式で、ボランティア1～数名で対応 ・基本テキスト「京都府国際センター「外国人住民のための 日本語教室」(基礎クラスⅠ、Ⅱ) みんなの日本語	日本語支援ボランティア 15名
30							
31							
32							
33							
34							

【主な活動】



コロナ感染症対策のため
手作りの飛沫防止シールドを
設置して授業を行っています。



にほんご教室には、
親子で参加される受講生もいます。



地元高校生達が見学を訪れ、
日本語で交流しています。

教室の立ち 上げに係る 問題とその 対応策	ニーズを把握するため本市在住の外国籍市民にアンケートを英語・中国語・タガログ語にて実施。 運営費と人材を確保するため、日本語支援ボランティア養成講座を実施し周知に努めるとともに市から業務委託と活動場所の提供を受けた。
--------------------------------	---

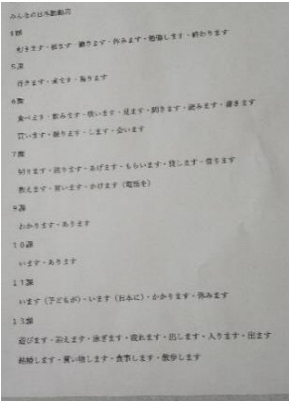
(3)その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
新規日本語支援ボランティア養成講座	令和2年10月	(3日間、合計10時間) 継続的な日本語支援ボランティア体制構築のため、基本的な日本語教育や日本語の教え方について学習する講座を開催し、新規ボランティアの増員を目指した。 (内容) ①多文化共生社会における市民、行政、企業の役割(井上洋アドバイザー) ②京都府の外国人住民と地域日本語教室(近藤徳明アドバイザー) ③多文化共生を目指して、地域日本語教室の役割(諏訪喜栄子コーディネーター) 「日本語の教え方入門④～⑩」(磯村美保子アドバイザー) ④外国人とのコミュニケーション やさしい日本語とは？ ⑤外国人に役立つ会話とは？ ⑥ひらがな・カタカナ・漢字 ⑦日本語の文のしくみ(文の作り方、動詞の活用) ⑧日本語の文のしくみ(練習方法紹介) ⑨日本語能力試験紹介 ⑩舞鶴の日本語教室活動紹介
現役日本語支援ボランティアスキルアップ研修	令和2年9月、11月、 令和3年2月	(3日間、合計6時間) 現役の日本語支援ボランティアの継続的なスキルアップを目的として開催した。 (より分かりやすい学習支援に向けて日本語の教え方について系統的に学習したり、外国人特有の生活のしづらさの理解を深め、他のボランティアの実践体験を共有し反省や参考とすることで、日本語支援ボランティアのモチベーションの維持と資質向上を図った。) (内容)①～⑥諏訪喜栄子コーディネーター ①②動詞のグループ分け、授業の進め方について ③④国語と日本語(母語と母国語)の違い、丁寧語、伝聞の「そうだ」、使役の作り方等 ⑤⑥日本語検定について、ボランティアとしての向き合い方等
多文化共生講演会	令和2年8月	(年1回、2時間) 私たちの生活を成り立たせるためには地域に居住する外国人との共生は欠かせないものとなっている現在、言語も文化も超えてアフターコロナ等の共通の課題に立ち向かっていくため、一人ひとりがどのように取り組んでいけばいいのかを考え、日本語学習支援とそれを支えるボランティアについての理解を広げるために多文化共生講演会を開催した。 (内容) テーマ:コロナ禍から社会の多様性の「大切さ」について考える ①京都府における外国人住民の現状(近藤徳明アドバイザー) ②振り向けば外国人がいる社会(井上洋アドバイザー) ③ことばと心の壁を取り除く人～地域日本語ボランティア(磯村美保子アドバイザー) ④MIAにほんご教室活動紹介(NPO法人舞鶴国際交流協会「MIA」)

【主な活動】



【新規日本語支援ボランティア養成講座】
上: 講座の様子
下: 修了式で終了証書を受け取る受講生



【現役日本語支援ボランティア
スキルアップ講座】
分かりやすい授業を目指して教材を手作りする等の工夫をしています。



【多文化共生講演会】
新型コロナウイルス感染症対策として、一部リモートで実施。

5. 今年度事業全体について

進捗状況	・新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言発出の期間は、やむなく教室を休講としたが、それ以外はほぼ計画通りに取り組むことができた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で新規の学習者は微増であるが、継続の学習者を含め、熱心に教室に通っている。 ・多文化共生講演会や新規日本語支援ボランティア養成講座を通じて、ボランティア登録を呼びかけ、11名の積極的に活動をしたと考えている新規の登録者を得た。 ・企業の日本語教室に対する認知も広がり、企業から学習者紹介の問合せ等が増えた。
事業推進にあたり問題点と対応策	運営資金については、限られた資金の中での支出を抑える工夫と協賛企業等の獲得に向けたアプローチの検討が引き続きの課題となっている。 新型コロナウイルス感染症の影響で、教室や講座に通うことに不安を感じる学習者やボランティアが多かった。 検温やマスク着用、手指消毒を徹底した上で、教室は飛沫防止シールドを設置し、密を避けるために教室開催時間を分けて2部制を導入し、講座については会場の定員の半数以下の人数で行う等の感染拡大防止対策を行った。
成果	・日本語教室の実施(計29回、延べ337名参加) ・多文化共生講演会54名参加 ・新規日本語支援ボランティア養成講座28名参加 ・新規日本語支援ボランティア11名増加(計58名) ・現役日本語支援ボランティアスキルアップ講座10名参加 ・日本語教室新規学習者10名増加(計31名) ・日本語教室の運営に係るノウハウが向上し、関わる人材も増えている。
地域の関係者との連携による効果	多文化共生講演会は、新型コロナウイルス感染症の影響で小規模の参加者での開催となったが、日本語支援ボランティアや学習者の事前の広報活動等により、日本語教室への問い合わせが増え、企業や地域住民の関心を多く集めることができた。 講演会の会場では活動状況の展示も行い、広く実態を知ってもらうよう努め、講演会の出席者からは、3人のアドバイザーそれぞれの豊富な知識と経験に基づく講演により多文化共生への興味関心が増したとの感想が多く寄せられた。
コーディネーターの主な活動	・体制整備のための調整(70H) ・人材育成のための調整(70H) ・日本語教室開設及び運営のための調整(70H) ・教材作成に向けた調整(17H)
アドバイザーの主な助言	・年に1回程度は日本語支援ボランティアの意見を聞く場を設けるようにすること。 ・セミナーや講座等の情報を共有し、日本語支援ボランティアがリモート等を活用した自己啓発を行えるようにすること。 ・転入手続き時等に外国人住民に「にほんご教室」を周知すること。 ・ゼロ初級の学習者等用にシラバスを整備しておくこと。 ・「にほんご教室」運営に係る企業の協力を得ることができるようアプローチを検討すること。
今後の課題	・開催頻度・曜日・時間・場所・オンライン等の再検討などを通して、日本語教室の運営方法について検証。他自治体の日本語教室関係者と積極的に情報共有し、舞鶴に合った運営方法を考える。 ・日本人、外国人住民双方に対し日本語教室について周知。 ・外国人雇用の事業者などステークホルダーと情報共有を密にし、日本語教室の持続的な運営体制を構築。 ・ボランティアの継続的な育成。
今後の予定	・自主財源の確保(他の補助金利用に向けた情報収集と協賛企業の獲得) ・日本語教室運営を継続 ・ボランティア育成 ・新規のボランティアを増やす ・啓発活動 ・日本人と外国人との交流イベント ・避難訓練等

本件担当 ： 舞鶴市役所市民文化環境部市民課生活安全係